

# 第6学年○組外国語活動学習指導案

○年○月○日（○）第○校時

活動場所

指導者

ALT

## 1 単元名 『We Can! 2』 Unit 5 My Summer Vacation

## 2 単元について

本単元では、児童が夏休みの思い出について伝え合うことをタスクとしている。夏休みの思い出について英語で友だちに伝えることは、6年生の児童にとって難しいことである。しかし、自分の夏休みの思い出について伝えたいという思いや、友だちの夏休みについて知りたいという興味関心は、非常に高いものと考えられる。「伝えたいこと」がしっかりとあり、「聞きたいこと」に関心を持つことで、活動に対するモチベーションが上がることを期待する。

そこで本単元では、事前に夏休みの思い出についてワークシートにまとめさせる。どこに行ったのかを伝える表現に加え、何を食べたか、何を見たか、それがどうだったかなどの表現を提示し、自由に使えるようにさせる。本単元では、動詞について過去形が必要になる。そのため、現在形との違いにも目を向けさせ、これらの表現に慣れ親しめるように、チャンツやゲームを使って繰り返し体験させる。

なお、タスクでは児童がお互いに「伝えたい」「知りたい」という必要感をより強く感じられるように、児童に事前に発表資料を準備させ、それを友達に見せながら発表させる。

## 3 児童の実態

<省略>

## 4 単元の目標

- (1) 進んで夏休みの思い出について伝え合おうとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- (2) 夏休みに行った場所や食べもの、楽しんだこと、感想などを表す表現に慣れ親しむ。  
【外国語への慣れ親しみ】
- (3) 英語に過去のことを表す表現があることに気付く。【言語や文化に関する気付き】

## 5 学校4・3・2制との関連

「学校4・3・2制を基盤とした一貫教育の推進」

—主体性と望ましい人間関係を育む道徳・特別活動の研究—

仮説 一人一人が自分自身の考えをもち、それをしっかりと伝え合い、互いに認め合うことができるような授業をすれば、児童生徒の主体性や望ましい人間関係を構築する力が育つであろう。

手だて 進んで発言し考えを交流させるための手立て

- ・ 「夏休みの思い出」という、児童が自分のことを「伝えたい」、友だちのことを「聞きたい」題材を設定する。

## 6 単元の指導と評価の計画

時	目標・活動	評価				
		コ	慣	気	評価規準	評価方法
1 本時	過去の表現の仕方に気付き、夏休みに行った場所を言ったり聞いたりする。 ・「夏休みの思い出について聞こう」 ・High five game ・「夏休みに行った場所を伝え合おう」 ・Chant ・Foods jingle			○	・I went to ~. が過去のことを表すことに気づき、夏休みに行った場所を言ったり聞いたりしている。	行動観察
2	過去の表現の仕方に慣れ親しみ、夏休みに行った場所と食べ物を言ったり聞いたりする。 ・Chant ・High five game ・「夏休みについて聞こう」 ・「フェイントリピートゲーム」 ・「夏休みに行った場所や食べたものを伝え合おう」 ・Foods jingle		○		・夏休みに行った場所や食べものなどを表す表現に慣れ親しむ。	行動観察
3	過去の表現の仕方に慣れ親しみ、夏休みに行った場所と食べ物、楽しんだことを言ったり聞いたりする。 ・Chant ・High five game ・「だれがどんなことをしたのか聞き取ろう」 ・「夏休みの思い出について聞こう」 ・「夏休みの思い出について伝え合おう」 ・Foods jingle		○		・夏休みに行った場所や食べもの、楽しんだこと、感想などを表す表現に慣れ親しんでいる。	行動観察
4	過去の表現を使って、夏休みに行った場所と食べ物、楽しんだことやその感想を言ったり聞いたりする。 ・Chant ・「フェイントリピートゲーム」 ・「夏休みの思い出について聞こう」 ・「夏休みの日記を読もう」 ・Story Time ・Foods jingle	○			・進んで夏休みの思い出について伝え合おうとしている。	行動観察

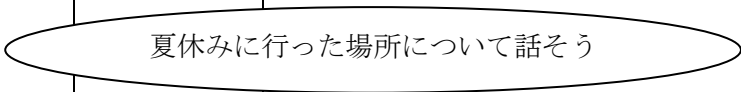
## 7 本時の学習活動（1/4時間）

### （1）本時の目標

I went to ~. が過去のことを表すことに気付き、夏休みに行った場所を言ったり聞いたりしている。

【言語や文化に関する気付き】

(2) 展開

時間	活動内容	児童の活動	指導者の指導		◇指導上の留意点 ◎評価規準
			T1・担任	T2・ALT	
ウォーミングアップ 5分	1 Greetings	H : Hello, everyone. 児 : Hello. H : How are you? 児 : I'm fine (sleepy, hungry, tired), thank you. And you? H : I'm fine too, thank you.			◇ 元気に挨拶させる。
	2 About today あいづち English	A : How is the weather? 児 : It's sunny.(cloudy, rainy...) A : What day is it, today? 児 : It's Wednesday. A : What's the date today? 児 : It's October 31st.		<あいづち English> Good! Nice! Cool! Cute! How about you? That's right. Got it! Really?	◇天気と曜日、日付を確認し、それらの表現に慣れ親しませる。 ◇毎時間の導入で、相槌に使う言葉に慣れ親しませることで、コミュニケーション活動の充実につなげる。
アクティビティー 35分	3 Teachers' Talk	・ Teachers' Talk を聞く H : How was your summer vacation? A : I went to Yokohama Anpanman Museum. H : Oh, How was it? A : It was great! I saw Anpanman and his friends. It was fun. And I ate Anpanman Pan. H : Wonderful! A : How about you? H : I went to Kanazawa. A : How was it? H : I enjoyed fishing. A : How many fish did you get? H : 30 fish. A : 30 fish! Amazing			◇毎時間同じスキットを聞かせ、児童に単元の中心表現に慣れ親しませる。
	4 Checking today's aim	・めあてを確かめる ・聞こえた言葉や表現を聞き、めあてにつなげる。 Today's aim is this.			◇特別な場所に行かなかった児童もいることに配慮し、近くの公園や買い物等も含めて伝え合うように指示する。
					
	5 activity (input)	・ High Five Game	・ High Five Game の説明をする。		◇ 児童の様子を観察し、困っている児童がいたら寄り

			<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みに関わる言葉（施設・場所・動作）を I went to に続ける。児童は、ALT や HRT の後に続いて言う。キーワードが出たら隣同士の 2 人組でハイタッチする。</li> </ul> <p>H: Keyword is mountain. S: Mountain. A: I went to the sea. S: I went to the sea. H: I went to the mountain. S: I went to the mountain. (ハイタッチ)</p>	添って支援する。
6 activity (output)	・Let's Play「夏休みに行った場所を伝え合う」	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアで夏休みに行った場所について伝え合うよう指示する。</li> </ul>		<p>◎ I went to ~. が過去のことを表すことに気付き、夏休みに行った場所を言ったり聞いたりしている。</p> <p>【気】＜行動観察＞ [B規準に達していない児童への手立て] → I went to ~. や夏休みに関わる言葉について黒板に掲示し、それを助けて発話できるようにする。 ◇ 聞き手が集中して話を聞けるように、eye contact を意識するよう支援する。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>HRT と ALT で最初にデモンストレーションをする。</li> </ul> <p>S1: I went to the sea. How about you? S2: I went to the mountain. S1: I see. Thank you.</p>		
7 Let's Chant Food Jingle	・チャンツを言う	・デジタル教材の音声に合わせて、Clear Voice で取り組めるように支援する。	・難しい言い回しについて、ゆっくりと繰り返し練習させる。	◇ デジタル教材を見せながら一緒に言う。
	・ジングルを言う	・食べ物ジングルについて説明し、練習した後、取り組ませる。		◇ デジタル教材を見せながら一緒に言う。
振り返り 5分	8 Looking back	・振り返りカードで自己評価する。	・活動の様子でよかった点について話をする。	◇ 児童を褒めることで、次時への意欲を高める。
	9 Greetings	<p>H : That's all for today. Thank you A : Thank you everyone. 児 : Thank you A : See you next time. 児 : See you next time.</p>		◇ 気持ちを込めて挨拶をさせる。